

# 1,000人が駆けだ

## 第1回瀬戸内市健康マラソン大会

邑久スポーツ公園野球場を主会場に2月19日、第1回瀬戸内市健康マラソン大会が開催されました。競技は、タイム宣言レース、競走レース、団体対抗レース、ファミリーコースなどで、自己の記録に挑戦する人や家族やグループで楽しく走る人など約千人が参加。ランナーはそれぞれ自分の力を出し切り、快走していました。



家族やグループで楽しく走ったファミリーコース

ゲストラランナーとして天満屋女子陸上競技部アドバイザーの山口衛里さんも競技に参加し、ちびっこランナーと一緒に走り、大会を盛り上げてくれました。

# 児童を犯罪から守れ!

## 牛窓北小学校区地域安全パトロール隊

牛窓北小学校で2月15日、牛窓北小学校区地域安全パトロール隊が結成され、出発式が行われました。小学生の下校時に、児童を狙った犯罪が多発していることを懸念し、地域の皆さんが協力し、地域安全パトロール隊を結成。出発式で長瀬勝志牛窓北小学校長は「自分のことを自分で守り、安全について勉強していきましよう」とあいさつ。80人の隊員の皆さんが、パトロール隊帽子をかぶり、児童に付き添って下校時のパトロールを実施しました。



地域安全パトロール隊員が、子どもの登下校を見守ります

# みんなで連携し地域を守ろう

## 瀬戸内市安全・安心まちづくり推進協議会



日本ガーディアン・エンジニアの小田啓二さんが、防犯の取り組みなどを紹介

瀬戸内市安全・安心まちづくり推進協議会設立総会が2月25日、邑久町公民館で開かれ、約300人が参加しました。同協議会は、全国で痛ましい事件が多発する中、警察・行政・住民・関係機関が一体となり地域安全活動に取り組み、安全で安心して暮らせる地域社会をつくらうと設立。日本ガーディアン・エンジニアス理事長の小田啓二さんが「防犯アドバイス・犯罪の被害に遭わないコツ」と題して記念講演。「住民だからできることを実行することで、多くの犯罪は防げる。情報を共有し、連携してまちぐるみで取り組むことが大切」と訴えました。そして、「人任せにせず、目の力・耳の力・コミュニケーションの力・行動力・社会のルールを守る力を使い、地域を自分たちの力で守ろうというシグナルを出し、この積み重ねが地域の力になる」と話しました。

# アンカーの絶妙トークにびっくり

## 市誕生1周年記念しNHK「ラジオ深夜便」

瀬戸内市誕生1周年記念としてNHKの「ラジオ深夜便のつどい」公開録音が2月11日、牛窓町総合福祉センターで開催されました。会場には全国各地から4倍の難関を見事当選し、入場券を手にした360人が参加。公開録音は2部構成で行われ、第1部は佐々木正美川崎医療福祉大学特任教授の「この時代の響きあう心を育てたい」と題した講演。第2部はアンカーの宇田川清江さん、西橋正泰さんと会場の皆さんがフリートークする「アンカーを囲むつどい」が行われました。会場の皆さんが、アンカーの二人に次々に質問し、それに答える宇田川さんと西橋さん。楽しい空気が会場を包み、公開録音はあっという間に終了しました。この「岡山発ラジオ深夜便」の放送は、2月25日の早朝にNHKラジオ第1放送で放送されました。



参加者の皆さんを魅了したアンカー二人の楽しいトーク

# 地域を挙げ人育てる

## 裳掛地区を明るくする会表彰式

裳掛地区を明るくする会表彰式が2月24日、裳掛コミュニティセンターで開かれ、28人が表彰を受けました。日常地域で優れた活動をしている人を表彰し、さらなる青少年の健全育成を推進していくことがねらいです。表彰式には55人が出席。地域の皆さんが見守る中、夏休みに科学研究に取り組み、瀬戸内市代表として県大会で成果を発表し仁科賞を受賞した青木悠さん（9歳・邑久町虫明）ら一人ひとりに、表彰状と記念品が手渡されました。

# ごみ資源が作品に生まれ変わる

## アルミ缶で手形オブジェを作ろう

アルミ缶で手形オブジェづくり講座 邑久町公民館などで開かれました。座が2月26日と3月11日の二日間、アルミ缶を使った手形オブジェ作りをおして、ごみ資源のリサイクルを子どもたちに訴えようと同公民館が企画。講師に蟻正造工芸の蟻正



アルミ缶からできた手形を見つめる子どもたち

雅雄さんを迎え、子どもたちが人が参加しました。2月、ケイ酸ソーダを混ぜた砂で一人ひとり手の铸型を取りました。3月、蟻正さんが反射炉でアルミ缶を溶かして铸型に流し込み、冷えるのを待って铸型を壊すとリアルな手形が完成。「使い終わったアルミ缶が、あんなにきれいなオブジェになるとは思わなかった」。岡寛人君（10歳・邑久町百田）はリアルな手形を見つめて言いました。



地域で優れた活動をしている28人が表彰を受けました